

ごんた坂 同窓会報

第1号
光陵会同窓会報

発行所
神奈川県立光陵高等学校
光陵会
印刷所
中央出版印刷株

第二十七回(一九九六年度)

光陵会総会及び同窓会の案内

光陵会の会員数も九千人を越え、会員相互の密な交流を図ることも難しくなりつつあります。

そこで、年に一度、全会員の交流の場となる集いを下記の要領で開催する予定です。

秋の一日を新田の交流の場として頂ければ幸いです。御多忙とは存じますが、万事お繰り合わせの上、お出かけ下さいませよう。ご案内申し上げます。

また、この同窓会を一次会として同様の旧交を温める機会とされるのもよろしいかと存じます。多数の御参加をお待ちいたしております。

※尚、同期会を開催するにあたり、必要な方には宛名シールの印刷をお受けしますので、无陵会まで御連絡下さい。

日時：平成8年10月19日(土)

午後3時開会

(30分前には御来場下さい)

会場：横浜プリンスホテル
会費：同窓会費として、8千円
旧し学生は、4千円

※学生の方は、学生証の提示をお願いします。

※会費は変更とすることがあります。その際はご了承下さい。

総会議題

1. 役員紹介・承認
2. 会計報告・承認
3. これからの同窓会のあり方について

お手数ですが、御出席を9月末日までに同封のはがきでお知らせ下さい。欠席される場合は必ず委任状に記名押印をお願い申し上げます。

昨年の第26回総会は、光陵会会長と教頭先生のご挨拶に始まり、新役員・会計の承認などの後、ビンゴゲームなどのイベントを行い、会員の皆様が商品をめざして大奮闘されたりしていました。最後には、会場の全員で学生時代を懐かしみつつ、校歌・応援歌を歌い、記念写真の撮影も行って、大拍手の中、盛況のうちに会をおさめることができました。

報道されなかつたことなご

旧職員(第19代校長) 有泉 晃

光陵高校同窓会報が発行される運びになった山、先ずはおめでとうございます。私は光陵高校での三年間の勤務を最後に、本年三月定年退職いたしました。この間、大田会長さんを始め多くの先輩の皆さんに、生徒諸君の精神的な支えとなっていたいただきましたこと御礼申し上げます。

本校に着任が決まったとき、安田先生(第7代校長)からアドバイスを受けました。

「光陵の生徒は話をよく聞いているので、間違いないよう吟味しておくことが肝要です」
当り前のことですが、大学でも私語が日立つ昨今のこと、素晴らしい生徒諸君との出会いを予感しました。

生徒諸君を称える外部の声も多く、とりわけ修学旅行先からの便り、その知的欲求度の高さ、真摯な姿勢を賞賛する便りに接することしばしばでした。しかし、苦情の声、不名誉な声も皆無ではありません。私にとっても忘れ得ぬことであり、また、同窓生の皆さんも心配された「飲酒事件」は、報道されなご部分やその後のことを、この機会に皆さんにお伝えいたします。雑誌光陵はこのことを特集し、多くの生徒がこの非を素直に認め、学校の姿勢を肯定的にとらえてくれました。また、あの場所を清掃したクラスがあります。そして、卒業式での代表の言葉でも「事件」に触れ、社会の信頼に背いた行為であったとの認識を示してくれました。

限られた篇幅で光陵生を語るのには難しいのですが、これらのことをどうして、私は、光陵生の良識が健在していること、彼等が教訓として生かしてくれるだろうと確信できたような気がいたします。

も最後かと、万感ごもも到りながら、二十八回生と一緒に校門を後にしました。
今年に創立三十周年記念式典が行われます。光陵高校そして光陵会の発展を祈念いたします。

会報名称決定のお知らせ

前回の創刊号準備号で、この会報の名称を募集したところ、武山の御応募を頂き、ありがとうございました。

皆様が提案して下さいました。たどの名称も光陵に対する愛に満ちあふれ、役員一同感謝の意を示しつつ、どの名称にするか真剣な議論が交わされました。その結果、光陵会同窓会報の名称が決定しましたので、以下にその経過をお知らせしたいと思います。

- ・ごんた坂
- ・光風雪月
- ・ひかり
- ・光臨
- ・(曖みさき)
- ・権田坂
- ・光陵の空
- ・権田通信

以上の中から、役員多数決も合わせて、ごんた坂、権田坂のうちどちらかを選ぶことになりました。大接戦となった決選投票の末、表記は「ごんた坂」に決定しました。

ごんた坂を提案して下さいました12期8組の片瀬沙さん、権田坂を提案して下さいました6期4組の森倉紀子さん

どうもありがとうございました。
新しく決定した「ごんた坂」これ程光陵生に親しい名前他にないでしょう。以後、お見知りおきを。



ML(メーリングリスト)のお知らせ

最近のパソコンブームにのって、電子メールを使える環境にある方も増えていると思います。光陵卒業生の方々が運営なさっている光陵関係のMLがあるのでお知らせします。

- 名称** 光陵会メーリングリスト
目的 光陵出身者が光陵を想い情報交換をし自ら楽しむ
入会資格 光陵OBなら誰でも入会できます。internetまたはパソコン通信でメールを読み書きできる環境が必要です。個人、企業、大学のアカウントを問いません。皆様のご入会をお待ちしております。
会員数 現在4期から25期まで50名ほどです。上限は考えていません。
通信量 昨年11月の開設以来約1,000通、平均1日5通。
話題 光陵会の将来像の議論から、遊びの計画、OB演劇紹介、茶飲み話まで。
入会方法 koryo-kai-request@mirwa.co.jp に期とクラスを明記して連絡してください。安全上、係が光陵会名簿と照合してから登録しています。
お断り 途中経路の関係で配送まで1時間程度かかります。人数が増えた場合、アドレスを変更するかもしれません。
連絡先 koryo-kai-request@mirwa.co.jp(足立高徳管理人 8期8編)

- 名称** 光陵高校放送委員会OB会メーリングリスト
性格 8期から10期の放送委員会OBが中心となり「たまに会おうよ」などと相談から始まった親睦用MLです。メンバーは現在7名。流通量は少なく平均週に1通。会員が増えるに連れて、性格も変わっていくものと思います。
入会資格 光陵高校放送委員会に所属または関連していた方はどなたでも。
入会方法 下記アドレス宛に、subjectとしてAPPENDという文字を、本文に自己紹介を書いてメールを送って下さい。自動的に入会処理されます。
 koryo-khs-control@daphne.stars.flab.fujitsu.co.jp
 折り返し、メーリングリストの使い方のメールが返送されます。
連絡先 yasakawa@flab.fujitsu.co.jp(9期7組 安川裕介)

一九九六年度光陵行事予定

4月5日	始業式
6日	入学式・生徒 317名 男 195名 女 122名
20日	開校記念日
5月31日	体育祭
7月10・11日	球技大会
19日	終業式
9月2日	始業式
21・22日	光陵祭(第30回)
10月7日	30周年記念式典
21・25日	修学旅行 (沖縄・北海道・長崎)
12月12日	スケート教室
24日	終業式
1月8日	始業式
2月上旬	学芸祭
3月11・12日	球技大会
15日	卒業式
25日	終業式

光陵の思い出

「仰げば尊し」

浜田 美和 (十六期・旧姓渡辺)

光陵会報準備係が置き、一年のときクラス担任だった村瀬先生御退任をはじめ光陵の事情が……結婚して実家から離れると、母校とも疎遠になってしま……に目を通して、折々のできごとが呼んできた。

あれだけやる気がなく、成績不良だった私の今日あるのは、「光陵」の温かい雰囲気と、それを自然につくってくれていた先生、同窓の方々のお陰と感謝を新たにしている。

思い出はたくさんあってここに全部書き切れないけれど、ひとつだけあげるとしたら私は、「卒業式の仰げば尊し」だ。

今はどうなっているかわからないが私の在学中、光陵の卒業式次第には、「仰げば尊し」がなかった。卒業生が自主的にうたうからだ。この風習については部活の先輩方や、近頃のOBの方からいつとはなしに伝え聞いているが実際に参加して試してみるとやはり感動してじーんとくる。

ごく一般的な式が終わろうとする時、卒業生有志が「仰げば尊し我が師の恩……とうたい出し合唱。終わるとそれにこたえるかのようになり二年生が応援歌を「光陵の空いろさえて……とはじめ、だんだんと式に参列する全員の合唱となる。しかし一方で、「自分は主旨に賛同できない」という者は参加せずその場では批判せず、やらない年もあり、またそれも光陵らしくてよいと思ったりした。

私たち十六期卒業生の年の締めには、教壇先生の「この次節は、生徒の自主的な計画によるものです。これも教職員の日頃の教育の成果と感じます。皆さんありがとう」「少しわざとらしくて言わない方がよかったです」という意見もありましたが……教壇先生ごめんなさい……という御言葉もあり、私の母も感動したという。第二十三期生の時はそれも半分だったというけれど。

ともあれ光陵は私自身にたくさんの「種」みたいなものを植えてくれた気がする。すでに芽が出て枯れたものや、成長中のもものもあるが大半はまだ芽を出さずに忘れられて、そのまま、家事と育児に追われる毎日だが、水や肥料をやる心の余裕を持ちたいなど、会報準備係に触れ思った。

～進路状況…平成8年大学合格者数～

年々厳しさが増していく大学受験ですが、平成8年の各大学別合格者数は次の通りでした。
(合格者には、過年度卒業生も含まれます)

国立・公立大学(3名以上)		私立大学(10名以上)		東京理科	49名
お茶の水女子	7名	青山学院	38名	日本	25名
千葉薬	5名	学習院	21名	日本女子	15名
東京京	8名	神奈川	43名	法政	35名
東京学芸	4名	関東学院	25名	武蔵工業	10名
東京工業	13名	共立女子	12名	明治	46名
東北	4名	慶應義塾	44名	明治学院	42名
北海道	5名	駒澤	13名	立教	29名
横浜国立	21名	上智	13名	早稲田	70名
東京都立	9名	中央	57名	短期大学(3名以上)	
横浜市立	9名	東海	15名	青山	4名
		東京女子	16名	東京農大	5名

※紙面の都合上、国立・短期は3名以上、私立は10名以上の大学とさせていただきます。ご了承下さい。

記事募集のお知らせ

会報「いんた坂」では卒業生・教職員の皆様から広く原稿を募集いたします。今後、この会報は年一回発行する予定です。光陵生時代の思い出や、大学・職場での活躍ぶりなどを紹介して下さい。30年の星霜を越えた交歓の場としてお役立て下さい。たくさんのお原稿をお待ちしております。

宛先
〒240 横浜市保土ヶ谷区榎田坂1丁目7-1 光陵会事務局

光陵会会計報告

～1994年度決算～

収入の部		備考
入会金	1,190,000円	@3,500×340
会費	1,190,000円	@3,500×340
總會会費	486,200円	
名簿代	363,440円	
雑収入	55,289円	利息他
前年度繰越金	1,070,889円	
合計	4,355,798円	
支出の部		備考
運営費	418,762円	食事代他
通信費	579,496円	郵送費・葉書・切手・封筒代
事務費	157,428円	事務用品・会報制作費
交通費	72,800円	
印刷費	44,309円	封筒・葉書・印刷費
設備費	19,130円	コンピューター保険代
總會会費	880,000円	
合計	2,171,925円	
支出差引額	2,183,873円	

～1995年度予算～

収入の部		備考
入会金	1,320,000円	@4,000×330
会費	1,320,000円	@4,000×330
總會会費	500,000円	
雑収入	40,000円	
前年度繰越金	2,183,873円	
合計	5,363,873円	
支出の部		備考
運営費	400,000円	食事代他
通信費	600,000円	郵送費・葉書・切手・封筒代
事務費	200,000円	事務用品・会報制作費
交通費	80,000円	
印刷費	45,000円	封筒・葉書・印刷費
設備費	19,130円	コンピューター保険代
總會会費	880,000円	
合計	2,224,130円	
支出差引額	3,139,743円	

96年度第1回

光陵会幹事会報告

去る96年3月24日(日)に幹事会が行われました。そこで以下のことを話し合い、決定しました。

・幹事の任務期間について

現在のシステムによると、光陵会の幹事は、在学中に決定され、その任期は永年といふことになっていきます。

しかし、「事実上何の仕事もしていないし、するつもりもないのに、卒業後何年経っても幹事扱いされるのは嫌だ」という意見が寄せられました。

確かに幹事がクラス会等の世話をしているとは限らないし、あまり気の乗らない人につまんでも幹事を押し付けておくのもどうかと思われまます。

そこで、幹事会で話し合った結果、卒業後10年を経過した人で希望する方は幹事をやめられるようにしました。

この方法については光陵会まで葉書でお問い合わせ下さい。(電話による問い合わせは学校側に連絡がかかりますのでおやめ下さい。)

・会費について

前回は、高校卒業時に一回限り納める終身会費により運営されています。この現行制度を改め、三年あるいは五年毎の年会費を徴収しようという案が浮上し、非年度の会費で紹介しました。

しかし、幹事会で検討した結果、今までの終身会費として会費を徴収していたのに、途中から年会費にするのはおかしい、という意見が多数出た為、またしばらくは現行のまま、運営方法を改善していこうという方針となりました。

これからは努力していきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。尚、運営方法について何か良いご意見がありましたら、どうぞお知らせ下さい。

光陵会からのお願い

会員名簿の取り扱い

最近、不明の団体、個人からの名簿の請求がありますが、光陵会・中央出版印刷部では、会員以外には配布しておりません。名簿の悪用が考えられますので、みなさまも名簿の取り扱いには十分ご注意の上、外部流出のないようお願いいたします。

また、光陵会・中央出版印刷部などと紛らわしい名を名乗り、勧誘および物品販売等の目的の一助先等の電話番号を載せてほしい」という業者があるようですが、光陵会・中央出版印刷部とは一切関係がありません。不審の際には、必ず光陵会へお問い合わせくださるようお願いいたします。

職員移動

(一内は光陵高校での勤務年数)

*御退職

校長 有原 晃 先生(3年)
理科 清水 隆之 先生(22年)

*御栄転

社会 青山 水久 先生
(15年 大同高校へ)
社会 吉澤 隆夫 先生
(13年 六ツ川高校へ)

数学 佐藤 孝 先生
(12年 神奈川工業高校へ)

家庭 橋本 扶美子 先生
(10年 商業高校へ)

国語 古澤 知華 先生
(3年 泰野南が丘高校へ)

事務 山口 美智子 さん
(3年 福岡高校へ)

*御兼任

校長 田村 恵和 先生
(初声高校より)

理科 柴坂 宏行 先生
(寛政高校より)

社会 国分 早苗 先生
(中沢高校より)

数学 松山 千秋 先生
(保土ヶ谷高校より)

国語 大野 初美 先生
(金井高校より)

国語 阪井田 由紀子 先生
(保土ヶ谷高校より)

家庭 佐々木 智恵 先生
(茅ヶ崎西沢高校より)

事務 大貫 裕子 さん
(大船工技高校より)

総会JCSM

「総会に出席するのに、懇親会費としてお金をとられるのはおかしい」という意見ができました。そこで様々な意見が出され、議論の結果、今年には懇会と同窓会を別ものとして考え、「同窓会費」としてお金を頂くことになりました。懇会のみ御出席の方にはお金をお返ししますので、当日、懇会終了後申し出て下さい。

「参加費が高い」という声が多く寄せられ、それについて考えている最中です。何かよいご意見があればお知らせ下さい。

また、今回からは他学年との交流をより深めるための会にしたいと思っております。多数の御参加をお願い申し上げます。

あとがき

前回の創刊準備号に続き、やつとの思いで光陵会同窓会報「こんだ版」創刊第1号を発刊することができました。これから年一回発行の予定です。どつぞよろしくお願ひいたします。この会報を発刊するに当たり、多くの方々に協力いただいたことを心より感謝申し上げます。会員皆様のご多幸を祈りつつあとがきに代えさせていただきます。

編集スタッフ

25期 佐藤 潤一 西井 太郎

26期 横田 秀明 小林 久美子
植木 里佳 佐伯 辰彦

27期 山口 貴子 長谷川 浩一郎

杉崎 麻里 福岡 督泰

福田 典子